

平成24年度第2回佐倉市立美術館運営協議会

議事録

日 時：平成25年2月11日（月・祝） 14：30～17：00

場 所：佐倉市立美術館 4階会議室

出席者：以下のとおり

（委員 8名）

上瀧委員、黒岡委員、齊藤委員、佐伯委員、田中委員、樋田委員、
広本委員、吉村委員

（美術館職員 5名）

前川館長、清宮主査、木邨学芸員、本橋学芸員、流主査補

会議次第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 報告事項
 - （1）平成24年度事業報告について
 - （2）平成25年度事業計画等について
 - （3）美術館活動の評価について
 - （4）学校連携について
4. 協議事項
作品の受け入れについて（非公開）
5. その他
6. 閉 会

【あいさつ】

<館長よりあいさつ>

【報告事項】

<事務局より説明>

- (1) 平成 24 年度事業報告について (資料 1・2 頁)
- (2) 平成 25 年度事業計画等について (2 頁)

<事務局より説明>

- (3) 美術館活動の評価について (3～8 頁)

(委員)外部評価というのは、具体的には、来館者のアンケートなどでしょうか。

(美術館)この協議会で、お願いしたいと思っています。運営協議会の性格上、無理があることは、承知しているのですが、この美術館のことを、一番よくご存じの、先生方にお願ひできれば、ありがたいと思っております。

(委員)私たちが評価するとしても、一方で、一般のお客さんが、どのように評価しているのかというのは、私たちには、わかりませんよね。

(美術館)アンケートの集計結果や、お客様の感想などを、提示したうえで、評価していただくこととなります。

(委員)評議をするというのと、評価をするというのは、一緒ではないと思います。外部評価委員会から出てきた評価に対して、この協議会で議論するというのが、協議会ではないでしょうか。

(美術館)協議会とは別の組織で、外部評価をするというのが、本筋ではあると思います。新しい組織を作るには、財政的な裏付けも必要です。ご指摘は、よく理解しましたので、検討したいと思います。

(委員)もし、別の組織が難しいのであれば、この委員の中から何人かを、外部評価委員に任命するという方法もあります。やはり、この美術館のことをよく知らないで、外部評価も難しいでしょうから。運営協議会委員と、外部評価委員が、全く同じ、というのは問題があると思います。

(委員)この評価が、年度計画や、中長期計画を作るための材料になる、ということはあるのですか。

(美術館)この評価は、中長期ビジョン作成のためのものではなく、年度ごとの、日々の活動に対する評価です。中長期計画の達成度というのは、また別にございます。

(委員)それでは、昨年よりも入場者が増えたとか、そういった相対的なものになるわけですね。

(委員)そうすると、このコレクションの独自性などは、この評価には、なじまないものですね。件数的な活動の評価と、中長期的な方針などに対するものは、分けたほうが良さそうですね。

(委員)外部評価委員は、財政的な問題があるのなら、ボランティアで募ってもいいと思います。むしろ、ボランティアのほうが、公正で辛辣な評価ができると思います

(委員)「評価」というと、受け身的な感じで、とらえてしまいがちですが、前向きに、美術館として、戦略的に、考えることもできると思います。例えば、この外部評価を、予算をつけてもらうために、活用するなど。そういうふうに、戦略的に考えることも、必要だと思います。

(委員)いろいろな要素がありすぎて、難しい問題は多くありますが、まずできるところから、再検討してください。

<事務局より説明>

(4) 学校連携について (9～31頁)

(委員)子供たちの反応はどうですか。

(美術館)やはり、実物の作品を見たというところで、感動ももちろんありますし、大人以上に、子供たちは、自然に、作品に触れることができるようです。芝千秋という作家を知らなくても、自分なりに模写をしたり、作品のここが好き、などといった話しを自由にしています。

(委員)前回の会議に出ていた意見などを、取り入れていただいているようです。アンケートの話に戻ってしまいますが、いろいろな項目、収蔵作品、企画展資料収集など、それぞれの中にある、学校連携の要素を、ひとつにまとめてくださるのでしょうか。

(美術館)評価項目として、ひとつ、柱だてする必要があると考えています。

(委員)佐倉学との関連を評価する、というのがありますが、もう少し、補足説明をしていただけますか。

(美術館)佐倉学ということで、佐倉市の教育委員会が提唱しておりまして、子供たちに、佐倉の歴史と文化を教えようということ、取り組んでおります。美術館でも、文化・芸術の面で、佐倉学に関わっていかなければならないと思っております。佐倉ゆかりの作家の展覧会をやりますと、パスポートを配って、まずは、子供たちに見てもらおうという取り組み、そして、先生方に、子供たちに伝えるための、小冊子を配ったりしています。

(委員)前回の議論をふまえた上で、今回、出てきたので、大変良いと思いました。

4. 協議事項

作品の受け入れについて（非公開）

<事務局より説明>

- ① 吉川朝衣・津田信夫作品の寄贈について（作品審査資料：1～3頁参照）
- ② 荒谷直之介作品の寄贈について（同資料：4～8頁参照）
- ③ 互井開一作品の寄贈について（同資料：9～16頁参照）

<全作品観覧後、各作品について、質疑、及び受け入れについての協議>

<作品の受け入れについて、委員全員承認>

【閉 会】